

1人1台タブレット端末の活用によって

てこの規則性を利用した道具についての理解を図る学習

第6学年

てこの規則性

こんな子どもたちの姿が生まれました!

- 道具の効果としてこの規則性を関係付けて考えることができました。
- てこの規則性が日常生活の様々な場面で活用されていることを捉えることができました。

タブレット端末・学習支援ツールの活用による効果

実験



結果の処理



撮影・保存機能を用いることで、観察、実験における事実に戻り、問題を解決できるようにする。

- ・身の回りの様々な道具で、力を加える位置や力の大きさに着目して、てこの規則性と道具の仕組みや働きとの関係を調べる。
- ・実験の様子をタブレット端末で撮影して保存する。
- ・学習支援ツール（ロイロノート）を使って、撮影した画像に「力点」、「支点」、「作用点」等の言葉、てこの規則性と道具の仕組みや働きについて発見した事実を書き込む。
- ・学習支援ツール（ロイロノート）を使って、実験の結果や考察を発表する。

※タブレット端末の撮影・保存機能は、繰り返し実験を行うことが容易ではない場面において、児童が事実を捉えるために用いると効果的である。

結果の交流



支点から力点までの距離を短くするとコードが切れませんでした。

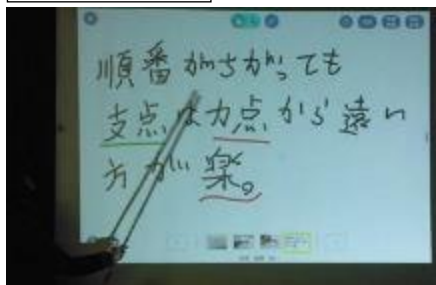


支点から力点までの距離を長くするとコードが切れました。

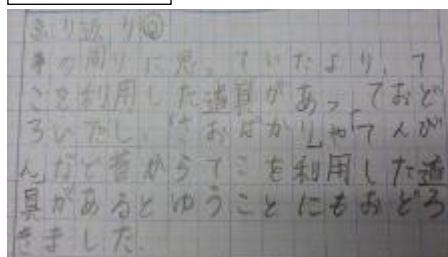
【実験で使用した様々な道具】



考察の交流



振り返り



児童A

教師の指導のポイント

- 理科は直接体験が基本である。コンピュータや情報通信ネットワークなどについては、観察、実験の代替としてではなく、自然を調べる活動を支援する有用な道具として位置付ける必要があることに留意する。